

平成28年度行政事業レビューシート（厚生労働省）

事業名		管理栄養士専門分野別人材育成事業費			担当部局庁		健康局		作成責任者				
事業開始年度		平成18年度		事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室		健康課栄養指導室		栄養指導室長 河野 美穂			
会計区分		一般会計											
根拠法令 (具体的な 条項も記載)		健康増進法第3条				関係する計画、 通知等		平成27年度管理栄養士専門分野別人材育成事業の実施について(平成27年4月10日付け健発0410第6号厚生労働省健康局長通知)					
主要政策・施策		高齢社会対策、食育推進				主要経費		その他の事項経費					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		複雑で解決困難な栄養の問題を有する個人や集団等の対象特性に応じた栄養管理の実施及び食事指導の拠点となる栄養ケア・ステーションの機能強化に向け、高度な専門性を発揮できる管理栄養士を育成するため、各専門領域におけるリーダーを対象とした研修プログラムを作成することを目的とする。											
事業概要 (5行程度以内。 別添可)		公益社団法人日本栄養士会に事業の実施を委託する。 治療効果をあげるために必要とされる高度な専門性を有する管理栄養士を育成するに当たり、当該年度は在宅訪問栄養専門管理栄養士(仮称)のための専門研修プログラムを作成する。また、昨年度行った摂食嚥下リハ専門管理栄養士の研修プログラムの試案を踏まえ、認定システムの検証を行う。 (1)専門領域で活動する管理栄養士の認定の在り方の検討 (2)専門領域の管理栄養士に求められるニーズや課題の分析 (3)実践プログラムの思案開発、検証及び作成 (4)上記(3)の成果をもとに在宅訪問栄養について、高度な専門性を有する「在宅訪問栄養専門管理栄養士(仮称)」の認定の在り方について検討 (5)認定を開始している専門分野(がん病態栄養専門管理栄養士・腎臓病病態栄養専門管理栄養士)に係るシステムの検証 ※補助率 10/10											
実施方法		委託・請負											
予算額・ 執行額 (単位:百万円)				25年度		26年度		27年度		28年度		29年度要求	
		予算 の 状 況	当初予算	21		20		20		20		20	
			補正予算	-		-		-		-			
			前年度から繰越し	-		-		-		-		-	
			翌年度へ繰越し	-		-		-		-			
			予備費等	-		-		-		-			
		計	21		20		20		20		20		
		執行額		21		20		20					
		執行率(%)		100%		100%		100%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		定量的な成果目標		成果指標				単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 28 年度
		例年規模(50人程度)の管理栄養士を対象に各専門領域におけるモデル研修を実施		各専門領域におけるモデル研修の参加者数		成果実績	人	53	59	20	-	-	
						目標値	人	50	50	50	-	50	
						達成度	%	106	118	40	-	-	
						活動指標				単位	25年度	26年度	27年度
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		実際に展開する専門研修プログラム		活動実績	プログラム	1	1	1	-				
				当初見込み	プログラム	1	1	1	1				
				算出根拠				単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込	
単位当たり コスト		X:当該年度執行額(百万円)÷Y:専門研修プログラム数		単位当たり コスト	百万円	21	20	20	20				
				計算式	X÷Y	21/1	20/1	20/1	20/1				
				平成28・29年度予算内訳(単位:百万円)		歳出予算目		28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由			
		衛生関係指導者養成等委託費		20	20								
		計		20	20								

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策評価	政策	I－10 妊産婦・児童から高齢者に至るまでの幅広い年齢層において、地域・職場などの様々な場所で、国民的な健康づくりを推進すること									
		施策	I－10－2 生活習慣の改善等により健康寿命の延伸等を図るとともに、がんによる死亡者の減少を図ること									
		測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 －年度	目標年度 －年度		
			実績値	－	－	－	－	－	－			
				目標値	－	－	－	－	－	－		
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係											
	複雑で解決困難な栄養の問題を有する個人や集団等の対象特性に応じた栄養管理の実施および食事指導の拠点となる栄養ケア・ステーションの機能強化に向け、高度な専門性を発揮できる管理栄養士を育成することを目的とし、各専門領域におけるリーダーを対象とした専門研修プログラムを作成することで、水準の高い栄養ケアを効率良く提供する。											
	アクション・プログラムとの関係	改革項目	分野：	－	－							
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)			単位	計画開始時 －年度	27年度	28年度	中間目標 －年度	目標最終年度 －年度	
			成果実績	－	－	－	－	－	－			
目標値				－	－	－	－	－	－			
達成度				%	－	－	－	－	－			
(第二階層) KPI		KPI (第二階層)			単位	計画開始時 －年度	27年度	28年度	中間目標 －年度	目標最終年度 －年度		
		成果実績	－	－	－	－	－	－				
			目標値	－	－	－	－	－	－			
			達成度	%	－	－	－	－	－			
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係												
－												

事業所管部局による点検・改善											
	項 目				評 価	評価に関する説明					
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。				○	栄養指導・食生活支援を担う人材の育成について、複雑で解決困難な栄養の問題を持つ対象者に対して水準の高い栄養ケアを提供することができる管理栄養士の育成は広く国民のニーズがある。					
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。				○	高度な専門性を発揮できる管理栄養士の育成、地域における栄養支援活動を均てん化するため、国が実施すべき事業である。					
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。				○	栄養指導・食生活支援を担う人材の育成について、複雑で解決困難な栄養の問題を持つ対象者に対して水準の高い栄養ケアを提供することができる管理栄養士の育成は優先度の高い事業である。					
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。				○	支出先は、高い専門的技術を有する職能団体であり、選定は妥当である。					
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。				無						
	競争性のない随意契約となったものはないか。				無						
	受益者との負担関係は妥当であるか。				○	各専門分野別リーダー向け研修プログラムは、水準の高い栄養ケアを効率的よく提供する管理栄養士の人材育成に活用できることから、負担関係は妥当であるといえる。					
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。				○	専門研修プログラムの作成に、適切な額の執行がされており、妥当である。					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。				－	－					
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				○	水準の高い栄養ケアを効率よく提供する管理栄養士の人材育成を行うための事業の目的に必要な費目・使途となっている。					
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)				－	－					
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。				○	評価委員を設置し、常に事業の振り返りを行っている。						

事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。			○	専門分野の人材育成という目標に対して、専門分野のリーダー候補者が増加しているという実績は妥当である。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			○	事業は高い専門的技術を有する職能団体によって行われる必要があり、他の手段・方法は困難。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○	専門研修プログラムやリーダー候補者数など見込みに見合ったものであった。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			○	専門性の高い管理栄養士の育成により、水準の高い栄養ケアの提供を可能とすることが期待される。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）			-		
	所管府省・部局名		事業番号	事業名		
			-	-		
			-	-		
			-	-		
			-	-		
			-	-		
点検・改善結果	点検結果	27年度は、昨年度から開始した腎臓病病態栄養専門管理栄養士の育成に係るシステム検証を行い、腎臓病病態栄養専門管理栄養士の輩出につながった。併せて、摂食嚥下領域については専門研修プログラムの試案をすすめた。目的・予算の状況、資金の流れ、費目・使途、活動実績についても適切に実施された。				
	改善の方向性	今後も、委託先と適宜連絡を取り、事業の進捗状況を把握するとともに、事業完了後提出される事業実績報告書等により執行実態を確認するなど、引き続き、適正執行に努める。				
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	点検結果も妥当であり、管理栄養士の育成に寄与する事業であることから、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	-					
備考						
-						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	313	平成23年度	284	平成24年度	244	
平成25年度	285	平成26年度	298	平成27年度	310	

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
20.4百万円

〔 事業目標・計画、事業の進捗状況、
事業成果の確認等 〕



補助

A. (公社)日本栄養士会
20.4百万円

〔 高度な専門性を発揮できる管理栄養士を育成するため、各専門領域
におけるリーダーを対象とした研修プログラム作成等の事業を実施 〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.(公社)日本栄養士会			B		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	旅費	講師謝金、委員手当	10.6			
	庁費	印刷製本、会場借上、通信運搬費、会議費	4.9			
	諸謝金	講師旅費、研修旅費	4.1			
	雑役務費	認定試験、合同委員会に係わる事務費用	0.8			
	計		20.4	計		0

支出先上位10者リスト

A.								
	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(公社)日本栄養士会	7010005003552	高度な専門性を発揮できる管理栄養士の育成	20.4	-	-	-	-

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契 約 先	法 人 番 号	業 務 概 要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		-	-	-	-	-	-	-	-